

大会宣言

新社会党は「平和・人権・正義・環境」の旗を掲げ誕生した。結成されて二〇年を迎えるいま、私たちの正面には暴走する安倍政権がある。そして、その背後には貪欲に搾取・貧困と格差拡大・世界(市場)支配を進める多国籍資本がある。

本大会は、安倍・自公政権の憲法破壊、戦争法成立阻止の歴史的闘いの大きな盛り上がりの中で開催された。

私たちは、多国籍資本を代弁し、憲法の三原則「国民主権・基本的人権・絶対平和主義」を葬り去る安倍政権と闘うために、総力を尽くすことを本大会で意思統一した。

一、戦争法案阻止に向け、駅頭・街頭・ビラ配布等の独自活動をはじめ、団結できる全ての勢力と固く連携して、中央の国会包囲集会・座込み、各地区の闘いなどに共に闘うことの必要性を共有した。

二、来年夏の参議院選において、党のすべての機関・個人が統一戦線の構築の努力をあらゆる場で行い、「護憲勢力の大同団結選挙」を求める草の根大衆運動と改憲阻止の大世論を喚起し、護憲勢力が改憲発議を阻止できる議席を目指すことを共有し、また、その一翼を新社会党が担うことを決意した。

三、安倍政権の大企業優遇政治、つまり原発再稼働・雇用破壊・社会保障破壊・消費税増税等の生活破壊、そして共通番号制・民族差別と復古主義・沖縄の新基地建設・横田基地へのオスプレイ配備等に反対する人々と共に闘うことを決意した。

四、以上を追求しながら、また遂行するためにも、組織建設・機関紙拡大に全力をあげ、新社会党および東京都本部の存続基盤・活動基盤の盤石化を目指す。

右、宣言する。

2015年7月11日

新社会党東京都本部 第20回定期大会